

第 64 回入学式 学長式辞
2018.4.5 学長 西内みなみ

第 64 期生の皆様、桜の聖母短期大学へのご入学おめでとうございます。1955 年に開学した本学は、皆様と共に、64 年目の春を迎えています。聖母マリア、創設者聖マルグリット・ブールジョワと共に、桜の聖母短期大学は、皆様のご入学を心から歓迎しています。

まず、新入生の皆様が、桜の聖母短期大学で学ぶことを選択して下さったことに、心から感謝します。先の震災以来、多くの若い方々が福島を去る中、皆様は、ここで学ぼうと決意して下さいました。震災から 7 年がたち、この福島で学校を続けられるのは、多くの選択肢の中から、桜の聖母短期大学を皆様が選んで下さったおかげです。本当に、ありがとうございます。

先ほど、朗読された聖書のみ言葉を初めてお聞きになった方も多いでしょう。

短大の正面玄関ホールには、この聖書の場面が、世界に一つしかない美しいステンドグラスとして、描かれています。そこに描かれているのは、イエス・キリストを身ごもっている聖母マリアが、山路を越えて、遠い親戚のエリサベトをご訪問する場面です。この「ご訪問の聖母マリア」は、桜の聖母短期大学にとって、最も大切にしている「建学の精神」を表わしたシンボルです。

聖母マリアは、たぶん 10 代でしたから、皆様と同じ年ごろのおとめでした。

赤ちゃんを授かり妊娠していました。

自分も妊娠して、たいへんであったにもかかわらず、たぶん 40 代くらいの親戚のエリサベトが高齢で妊娠したと聞き、心配して、遠く離れた山里までお見舞いに行きました。

そして、2 人が出会った場面、この聖書の場面が先ほど朗読され、さらに、短期大学の正面玄関にある美しいステンドグラスに描かれています。

そこに描かれた「ご訪問の聖母マリア」の精神、それは、心配な方がいたら、妊娠している我が身を省みず、ご訪問する、愛と奉仕に生きる聖母マリアの精神です。

この「ご訪問の聖母マリア」の精神のもと、桜の聖母短期大学の設置母体である修道会が創設されました。

360 年前、聖マルグリット・ブールジョワという一人の修道女が、フランスから、大西洋を船で 2,3 か月もかけて、未開地のカナダに、出かけて行き、多くの子どもたちや大人たちに教育を授けました。聖マルグリット・ブールジョワの設立した修道会は、フランス語で「コングレガシオン・ド・ノートルダム」日本語に訳すと「聖母マリアの修道会」といいます。この修道会は、未開地だったカナダの発展に大きく貢献しました。聖マルグリット・ブールジョワは、カナダの方なら誰でも知っているシスターであり、聖人であり、カナダでは建国の母として敬愛されています。そして、何よりも、優れた教師でした。

カナダの建国に大きな貢献をした聖マルグリット・ブールジョワの修道会が、1932 年、今から 86 年前、5 人のシスター達を日本に派遣して下さいました。それが、東京でも、仙台でもなく、この私たちの街、福島市に、です。これも奇跡です。

5 人のシスターは、福島市に修道院を開設され、まず、幼稚園を、そしてその子たちが進学する小学校を、中学校を、高等学校を次々と開設されました。そして、その高校生たちに高等教育を受けさせたいという願いから、1955 年に開設された学校が、この桜の聖母短期大学です。

フランスから派遣された聖マルグリット・ブールジョワが、カナダで愛と奉仕に生きたように、カナダの修道会から派遣されたシスター達も、福島の子どもたちや大人たちのために、愛と奉仕に生きて下さいました。その歴史と伝統によって、今日、私たちは、64 期生の皆様をお迎えする事ができるのです。

64 期生の皆様のほとんどは、西暦 1999 年から 2000 年生まれの方々です。21 世紀を生きる皆様は、自分が何歳くらいまで生きるとお考えですか。

2017 年、日本人の平均寿命は男性 80.75 歳、女性は 86.99 歳で過去最高を更新しました。平均寿命とは、死亡率が今後も変わらないと仮定し、その年に生まれた 0 歳児があと何年生きられるかを表しています。皆様の年齢で、後、何年くらい生き

られるかを調べたところ、69.29年、約70年間でした。

ところが、今、この「死亡率が今後も変わらない」という仮定が崩れつつあります。イギリスのリンダ・グラットンの『LIFE SHIFT ライフシフト 100年時代の人生戦略』によれば、平均寿命は、10年ごとに2~3年ずつ伸びていて、1999年から2000年生まれの皆様は、100歳まで生きる確率がかなり高いと言われていました。

この本では、18歳の皆様がいまの自分をどう見るかではなく、70歳、80歳、100歳になった皆様が、いまの自分をどう見るのかを考えて欲しいと問いかけています。いま、あなたがくだそうとしている決断は、未来の自分の評価に耐えうるかどうかを、この本は問いかけているのです。

しかし、皆様、どうぞ、安心して下さい。ここにいる桜の聖母短期大学の教授陣は、これから、長い人生を生きる皆様のニーズに応じて、「新しい学習テクノロジーと経験学習」を、授業の中に豊かに取り入れています。人工知能(AI)では代替できない、「創造性、独創性、やさしさ、思いやりを教える方法」について深く考えています。また、「テクノロジーの進歩に対応するための実践的な専門教育を急速に拡大」しつつあります。

さらに桜の聖母短期大学は、この四月から社会人のための「履修証明プログラム」を導入し、教室での「年齢の壁」を壊そうとしています。これは、10代の皆様の年齢の壁を壊すだけではなく、皆様が、80代、100代になられても、年齢の壁のない学び舎に、いつでも誰でも学び直しに帰って来て頂けるようにするためです。桜の聖母短期大学では、何歳になっても生涯、学び続けたいという知的好奇心の育成も、大切な教育目標として掲げています。

新入生の皆様、覚えていて下さい。

桜の聖母短期大学の教職員は、いつも、必要とされているところにはどこにでもいく、本学の「建学の精神」に謳われている「愛と奉仕に生きる」聖母マリアや聖マルグリット・ブールジョワのようでありたいと努めています。

そして、2年間で皆様を、思いやりと行動力のある

女性、compassionのある smart woman「愛と奉仕に生きる良き社会人」として社会に送り出そうと、私たちは、最善を尽くす事を、新入生の皆様にお誓いします。

そのために、様々な授業や学校行事を準備しています。本学の授業は、教室でしっかりと知識や技術、そして豊かな教養を身につけ、「ご訪問の聖母マリア」のように、創設者聖マルグリット・ブールジョワのように、様々な地域やコミュニティ、海外にも出かけていきます。教室と同じく、地域や世界が、皆様の学びの場です。このような学びを通して、皆様は、1万人を超える卒業生がそうであるように、必ず「愛と奉仕に生きる良き社会人」として、美しく成長されます。

保護者の皆様、高いところから、たいへん恐縮です。お嬢様の選択を尊重して頂き、多大なるご支援を賜ります保護者の皆様に、深く感謝します。教職員一同、お嬢様お一人ひとりを大切にご支援させて頂くことをお誓い申し上げます。

また、ご多忙中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、兼任教員の皆様にも御礼申し上げます。桜の聖母短期大学のこの歴史と伝統を大切に継承し、さらにより良い教育活動をしていくことを、お誓い申し上げます。

さあ、64期生である新入生の皆様

2年間は、瞬く間に過ぎ去ります。さらに短く感じられるほど充実させましょう。

あなたの夢をここで実現し、あなたが、あなたのなりたい自分になり、愛と奉仕に生きる良き社会人として母校を巣立つ日まで、私たち教職員一同は、いつも皆様の傍らにいて支援させて頂きま

64期生の皆様とそのご家族に、そしてこの桜の聖母短期大学に集うお一人おひとりに、主イエス・キリストと聖母マリア、聖マルグリット・ブールジョワの豊かな祝福をお祈りして、式辞といたします。